

2018年1月8日掲載

## 入れ歯は何でできているか 材質や特徴さまざま

入れ歯の素材についてご存知でしょうか。多くの入れ歯は、さまざまな種類の合成樹脂でできています。その性質の違いによって、特徴の異なる入れ歯になります。アクリル樹脂は、吸水性があり変色することもあります。透明感があり、加工や修理がしやすいです。また、ポリエステル系樹脂は、熱によってやわらかくなり、さまざまな形にすることができます。吸水性はなく、すり減りや衝撃に対して強く、硬くて適合の良いものです。

合成樹脂には、引っぱりや曲げに強く、しなやかで自然な装着感を得られるものもあります。また、シリコン系樹脂は熱を加えると丈夫になり、弾力性を持ちます。粘膜面に優しい性質で、入れ歯が直接あたる土手の部分に痛みがあったり、傷ができやすかったりした場合などに裏打ち材料として使用する時があります。

一部が金属でできている入れ歯は、金やチタン、コバルトクロムなどで裏打ちします。腐食しにくく、薄くて、生体になじみ熱が伝わりやすい特徴があります。

このような材質の特性に応じて、実用的なものから、美しさ、機能性を求めたものまで、口の中の状況、表情や個性に合わせ、入れ歯を選ぶことができます（ただし、医療機関により取扱いは異なります）。

素材の違いにかかわらず、ケアと清掃に心がけ、入れ歯の持つ長所を生かしましょう。